

【北海道ミライづくりフォーラム2024】

自治体・地域社会DXセミナー

2024年10月1日(火) 13:00~15:00 札幌コンベンションセンター 中ホール

デジタルのチカラで
持続可能な地域社会実現へ

AIの活用、データ利活用により
住民のためのDX実現に向けて
今、何をすべきか

Slido



#1135273

<https://www.sli.do/com>

アンケート(Foms)



<https://forms.office.com/r/m2s80mabQ5>

配布資料



https://tele-kon.gr.jp/main/241001_dx_seminar/

YouTube LIVE



https://youtube.com/live/Pa3lJ_m-KY8

13:05-13:35

基調講演 「自治体におけるAI活用に向けて」

地域課題の解決や未来社会に必要とされる人工知能技術の導入に向けて、AIの最新の状況もふまえてお話しします。

講師：山下 倫央

北海道大学大学院情報科学研究院 准教授

13:35-14:00

講演 「自治体データ活用術」

「データは資産」と言いますが、使わずにしまっておくだけでは価値は生まれません。自治体データを活用するための考え方と事例をわかりやすくお伝えします。

講師：下山 紗代子

一般社団法人リンクデータ 代表理事
デジタル庁 オープンデータ伝道師
総務省 地域情報化アドバイザー

14:00-15:00

クロストークセッション 「住民のためのDXとは」

道内の自治体DX推進者達が考える「次の一手」、地域社会のため、住民のためのDXについて語ります。

ファシリテーター 下山 紗代子

ゲストスピーカー 山下 倫央

?	?	AI
?	住民のためのDX	TTP
デジタルアレルギー	?	?

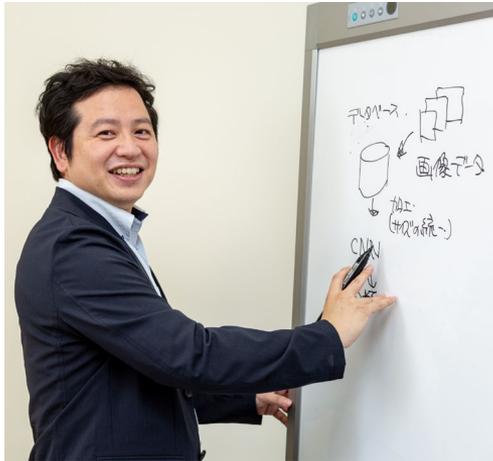
デジタル庁 データユニット データプロダクトマネージャー

(元室蘭市経済部緊急経済対策室長) 丸田 之人

北見市 総務部 人材育成主幹 及川 慎太郎

音更町 情報システム課長 山田 和弘

slidoコメンテーター 八雲町 情報政策係長 中村 達哉



山下 倫央

北海道大学大学院情報科学研究院
准教授

2002年 北海道大学大学院工学研究科システム情報工学専攻博士後期課程期間短縮修了
2003年 独立行政法人 産業技術総合研究所 サイバーアシスト研究センター 特別研究員
2005年 同所 情報技術研究部門 研究員
2011年 同所 サービス工学研究センター 研究員
2016年 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 主任研究員
同所情報・人間工学領域研究戦略部 研究企画室 企画主幹
2017年 現職

情報処理学会、人工知能学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会会員
2024年 北海道「北海道 Society5.0 推進会議」データ利活用部会座長

調和系工学研究室では、灯油配送最適化、AIによる競輪予想記事自動生成、AIによるファッション画像作成支援、大規模言語モデルによるマニュアル文章の修正など、民間企業との共同研究も多い。

『月刊 俳句界』(2023.10月号)「AI一茶くんの進化 AI一茶くんの今」に論考を寄稿

「AIを使って不便を解消し、便利に」がポリシー、事務処理が苦手



下山 紗代子

一般社団法人リンクデータ
代表理事

デジタル庁オープンデータ伝道師/ 総務省地域情報化アドバイザー

2010年 琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻修了
バイオインフォマティクス系ベンチャーに就職後、
理化学研究所にて生命科学統合データベース構築事業に参画

2014年 一般社団法人リンクデータ設立

2017年 ミーカンパニー株式会社 データスチュワード

2018年 インフォ・ラウンジ株式会社 取締役

2020年 政府 CIO 補佐官

2021年 デジタル庁データスペシャリスト

2022年 愛媛県 市町 DX 推進専門官、三重県 デジタル推進フェロー

2023年 和歌山県 市町村 DX総括アドバイザー、宇都宮市 DX専門官

オープンデータ支援プラットフォームLinkData.org の運用により自治体やシビックテックによる地域情報発信の支援、医療機関、介護施設等のオープンデータを活用したビジネスの推進、国、自治体、企業、研究機関におけるデータマネジメント、データ可視化・分析、データ戦略策定、データ品質管理、データ標準化に従事するデータの専門家である。

丸田 之人

デジタル庁 データユニットデータプロダクトマネージャー

デジタル庁オープンデータ伝道師 / 総務省地域情報化アドバイザー / 北海道「自治体情報システム標準化等推進事業」アドバイザー
1997年 室蘭市役所入庁 水道部総務課、行政管理課情報処理係(現ICT推進課)、2013年ICT推進課長、2018年観光課長、
2022年 緊急経済対策室長
2024年9月 デジタル庁入庁 現職

前職の室蘭市では全庁型統合GISを導入し、道内初のODに取り組む。アイデアと行動力で室蘭市の観光・地域活性化を進め、プレミアム付商品券事業のDX化では大きなコスト削減と処理時間短縮など、デジタル効果を追求する実践者である。

及川 慎太郎

北見市 総務部人材育成主幹 / 総務省地域情報化アドバイザー

2002年 北見市役所入庁、情報システム課、企画財政部IT推進課、総務部職員課、2012年 総務部総務課総務係長、
2023年より現職

2011年 北見市の窓口業務改善WGに参画。職員目線での「できることから改善」と利用者目線での「情報の整理」を積み上げて作る北見市の「書かないワンストップ窓口」は、役所の内側の業務効率化モデルとして参考にする自治体が増えている。デジタル人材を増やすべく、気づきの種を蒔く。



山田 和弘

音更町 情報システム課長 兼 情報システム係長 / 北海道「自治体情報システム標準化等推進事業」アドバイザー

1995年 音更町入庁、水道課建設係、農政課畜産係、税務課住民税係、総務課情報システム係、財政課財政係、
2012年 情報・防災課情報システム課係長を経て、2022年より現職
2018年～北海道電子自治体共同運営協議会企画運営部会長
2022年 デジタル庁オープンデータ推奨データセット検討委員

30年にわたる役場での経験と勘をベースに、データ活用も踏まえながら現場からの相談に応じ、無理のない、地に足の着いた取組を軸にDXと向き合っている。市町村の境界を越えた広域での取組にも精力的に関わる。
信条は、来るものは拒まず去るものは追わず、やらない理由は探さない。

中村 達哉

八雲町 政策推進課情報政策係長 / 北海道「自治体情報システム標準化等推進事業」アドバイザー

1999年 旧熊石町役場入庁、水産商工課水産係、町民課在宅介護支援係、熊石総合支所産業課海洋深層水推進室
2008年より情報政策室(現 情報政策課) 現職 (2005年 合併により「太平洋と日本海 ふたつの海を持つまち」北海道二海郡八雲町に)
2009年から八雲町情報担当職員ブログ『にわかSEは大忙し!』を開始、情報化の課題やシステム環境整備の工夫を日々発信し続け、全国に「同業者」のファンをもつ。

